

まちのうごき

(2月1日現在)	(1月中)	
世帯数 14,351世帯	生れた人 79人	
人口 48,234人	亡くなった人 15人	
男 24,006人	転入した人 292人	
女 24,228人	転出した人 292人	

火災は人災 防ぐはあなた

■火が出た! そのときあなたは……

◎なすべき3つのこと(初期活動の三原則)

- 早く知らせる
- 早く消す
- 早くにげる



この三つの順序は、そのときの状況次第です。しかし、大きな災害にならない勇気ある行動がなにより大切です。消せと思ったら消火に努力すること。火事は初期消火がいちばん肝心なことです。

いよいよ三月、春めいた日が多くなってきました。ところが朝・夕の寒さはまだしばらく。暖房器具も使えば時には窓を開けて春風をと春と冬が同居の季節です。こんな時、暖房器具を切り忘れて「ちよつと戸外へ」と……

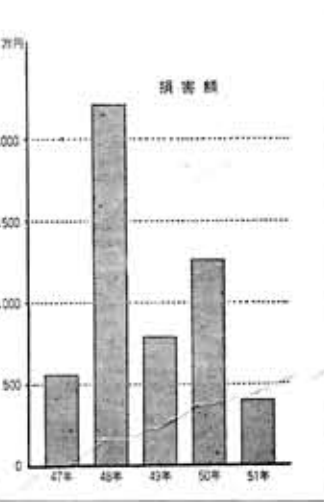
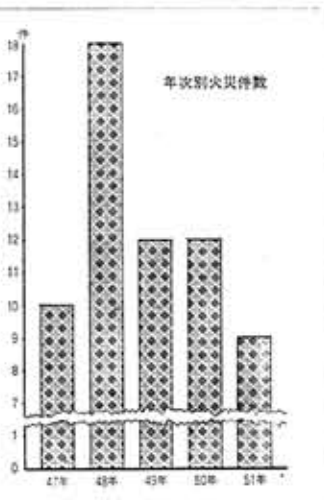
火災が多発する季節をむかえて、市消防本部では「市民参加の火災予防」をスローガンに、二月二十八日から三月十三日までの二週間、春の火災予防運動を実施しています。



火災

火はあなたを狙う

春の火災予防運動実施中
二月二十八日から三月十三日



我が家の火災対策

- 消火器は必ず備えましょう
- 使った火のあと始末、ガスのコック、電気のさしこみを点検する習慣をつけましょう。
- 家庭で使用される危険物品(白灯油、プロパンガス、シンナーなど)の取扱いに注意しましょう。
- 家族で、町内会で、防火や避難の話し合いをしましょう。
- 消火や避難は、自主的に訓練して身体でおぼえておきましょう。
- 独り暮らしの老人や身体の不自由な人に対しては、家族や近隣の人達で万一の時の避難・救助の方法を考えておきましょう。

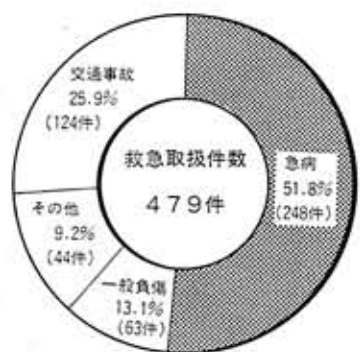
昨年、向日市内で発生した火災は、九件で前年度に比較して三件の減となっています。四十八年の十八件をピークに年々減少を続け、昨年も火災減少記録を更新しました。

多いタバコの不始末

焼損面積も四十四平方メートルで前年の百九十八平方メートルと大幅な減少となりました。また、死傷者も前年の四人から、死者ゼロといった輝かしい成果をおさめました。火災の原因については、たばこの不始末によるものが圧倒的に多く、たき火、火あそび、こんろ、風呂がま、ストーブ、放火……という順に続いています。

救急

昨年、救急車が出動した件数は、五百三十七件となっていました。このうち、取り扱った件数は四百七十九件、五百七十二人を運びました。過去五年間の救急車の出動件数をみると、二千五百三十八件で、救急取り扱いは二千二百八十四件、搬送人員は二千四百六十人



昭和51年1月～12月

にのぼっています。また、出動件数からみると毎年二十件程度、増加の傾向にあります。しかし、取り扱い件数の半数以上を占めている急病のうち、医師の診断によって入院の必要のない軽症者を多く搬送しています。

川を美しくしましょう

いよいよ水のぬるむ季節です。川の汚れが気になります。川を美しく、清潔で快適な生活ができるよう、みんなで心がけましょう。

~~~~川はゴミ捨て場ではありません。ひとりひとりが川を美しくする「心」を……そして実行を……~~~~

川を美しくする会

日曜・祝日の急患はすぐ

テレホン サービスで

☎ 931-3900へ

(午前7時30分～午後6時)

—当番の医院を紹介します。

診療時間: 午前10時～午後6時まで

乙訓医師会では、輪番制で休日の急患の診療にあたっています。

乙訓医師会